

第2期 尾道市スポーツ推進計画

スポーツタウン尾道

スポーツ無限大おのみち

令和6年度～令和10年度

2024年5月16日

R6.3 第2期尾道市スポーツ推進計画策定

策定経過

○尾道市スポーツ推進計画審議会

第1回：R5.7.31 第2回：R5.9.28
第3回：R6.1.11 第4回：R6.3.7

○アンケート調査など

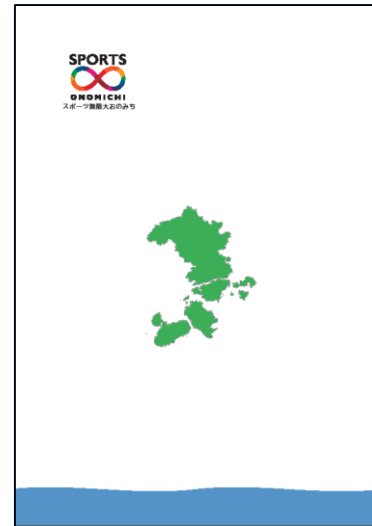
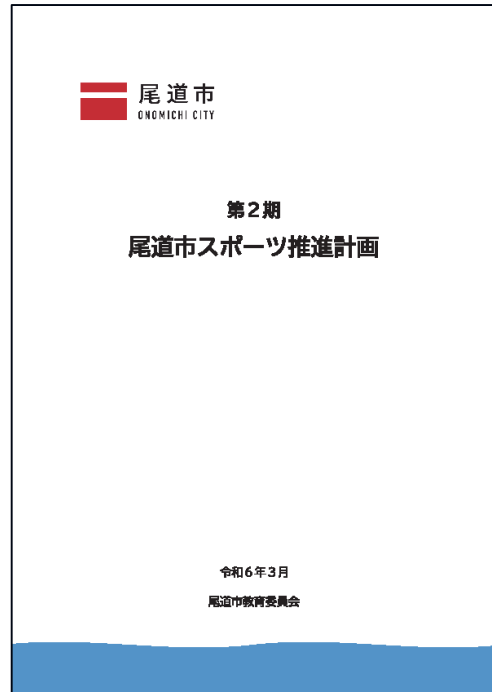
小・中学生及び一般、市体育協会所属団体へのアンケート
市内障害福祉サービス事業者へのヒアリング

○パブリックコメント

実施期間：R6.1.26～R6.2.21

○その他

市関係課との協議など



本編

○両面73ページ

○構成

はじめに

第1章 計画策定にあたって

第2章 尾道市のスポーツ推進に関する課題

第3章 基本的な考え方

第4章 計画推進のための具体的な施策

第5章 計画の推進

附属資料

概要版

○両面12ページ

○構成

表紙

計画策定の趣旨、計画の位置づけ、計画期間

尾道市の現状

スポーツの捉え方（範囲）

スポーツの力

施策体系

基本方針ごとの施策の基本的方向

数値目標

スポーツとSDGs

スポーツを取り巻く環境 (計画P8-10)

国の取組 (第3期スポーツ基本計画、Sport in Lifeプロジェクト)

パラスポーツ (活力ある共生社会の実現)

スポーツの多様性

スポーツツーリズム

新型コロナウイルス感染症の影響

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

中学校の部活動改革

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり



する

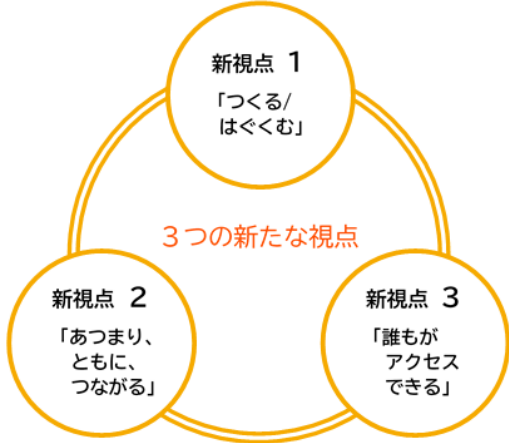


みる



ささえる

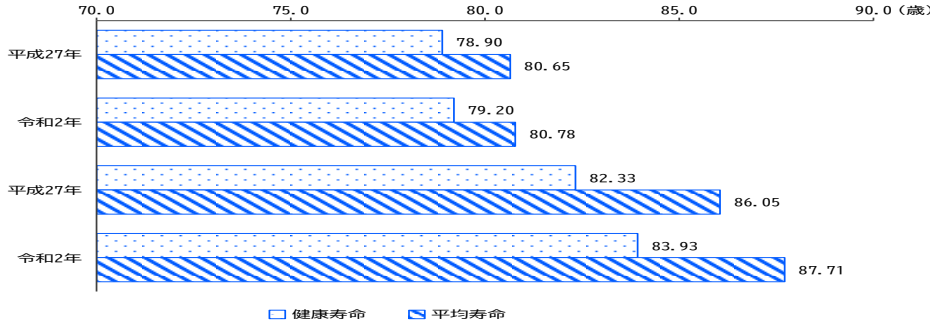
国の第3期スポーツ基本計画
新たな3つの視点



尾道市の現状 (計画P11-13、P18)

●健康寿命の延伸

男性79.20歳、女性83.93歳と伸びている。



●体力テスト (小・中学生)

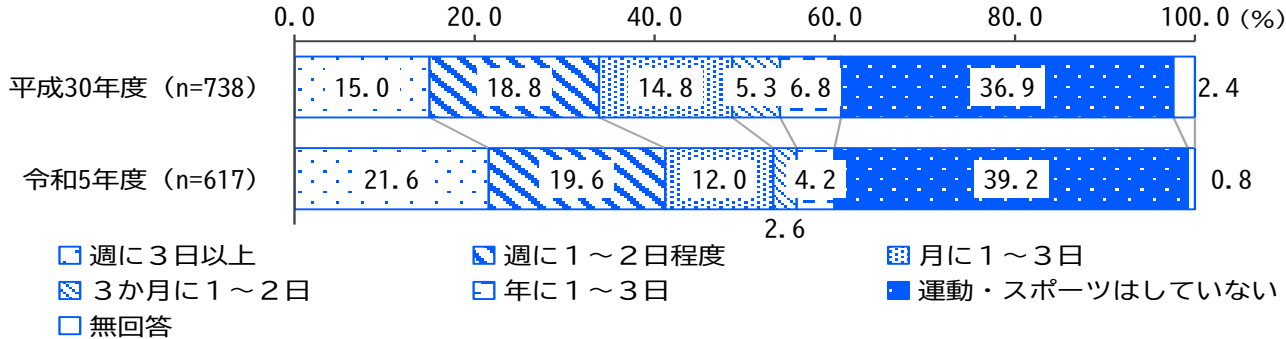
子どもたちの体力低下がみられる。

項目	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
H29との比較								
小学校5年生男子	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↓
小学校5年生女子	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
中学校3年生男子	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓
中学校3年生女子	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

※各体力測定の記録をH29と比較し、数値変化を矢印で表したものです。

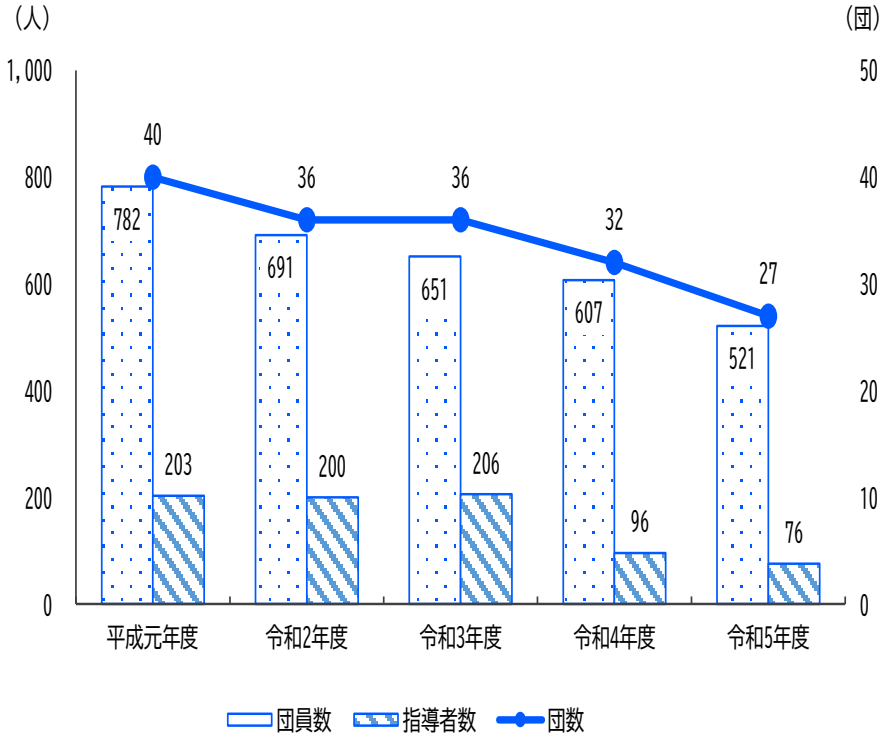
●スポーツ活動状況 (一般)

スポーツをする人、しない人の2極化がみられる。

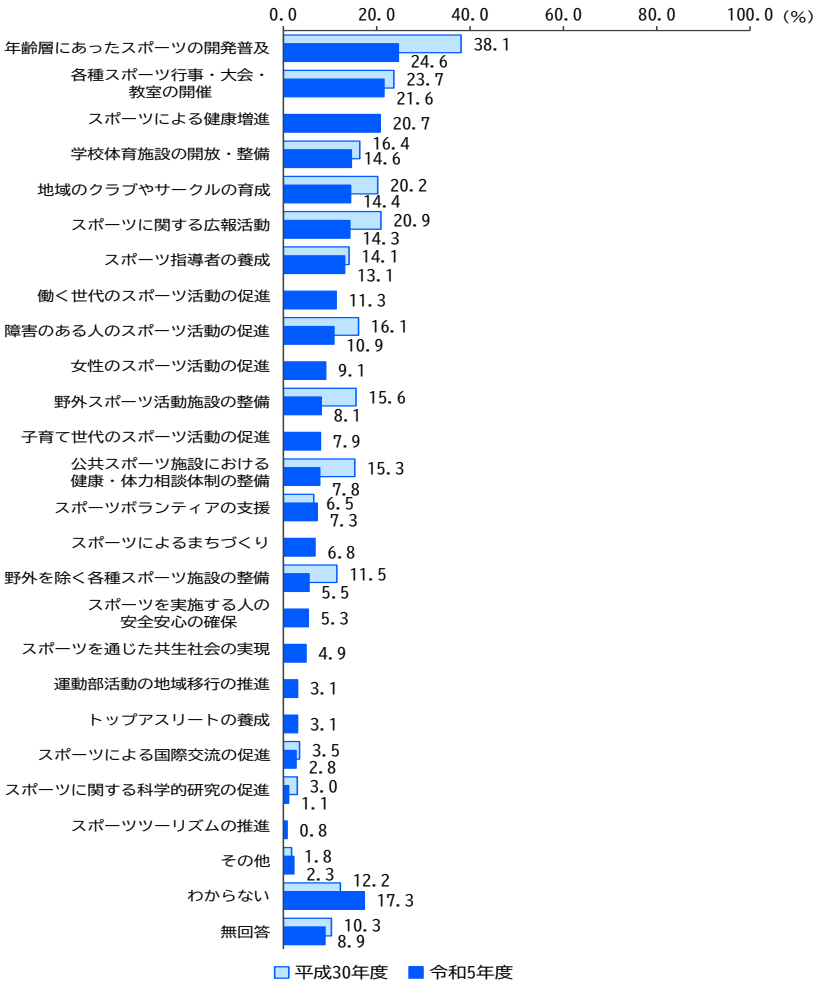


尾道市の現状 (計画P14、P21)

●指導者不足など (スポーツ関係団体の現状)



●これからのスポーツを盛んにするための施策



本計画のスポーツの捉え方 (範囲) (計画P4)

「スポーツ」は、元々「気晴らしや遊び、楽しみ、休養」といった要素を指すラテン語が語源

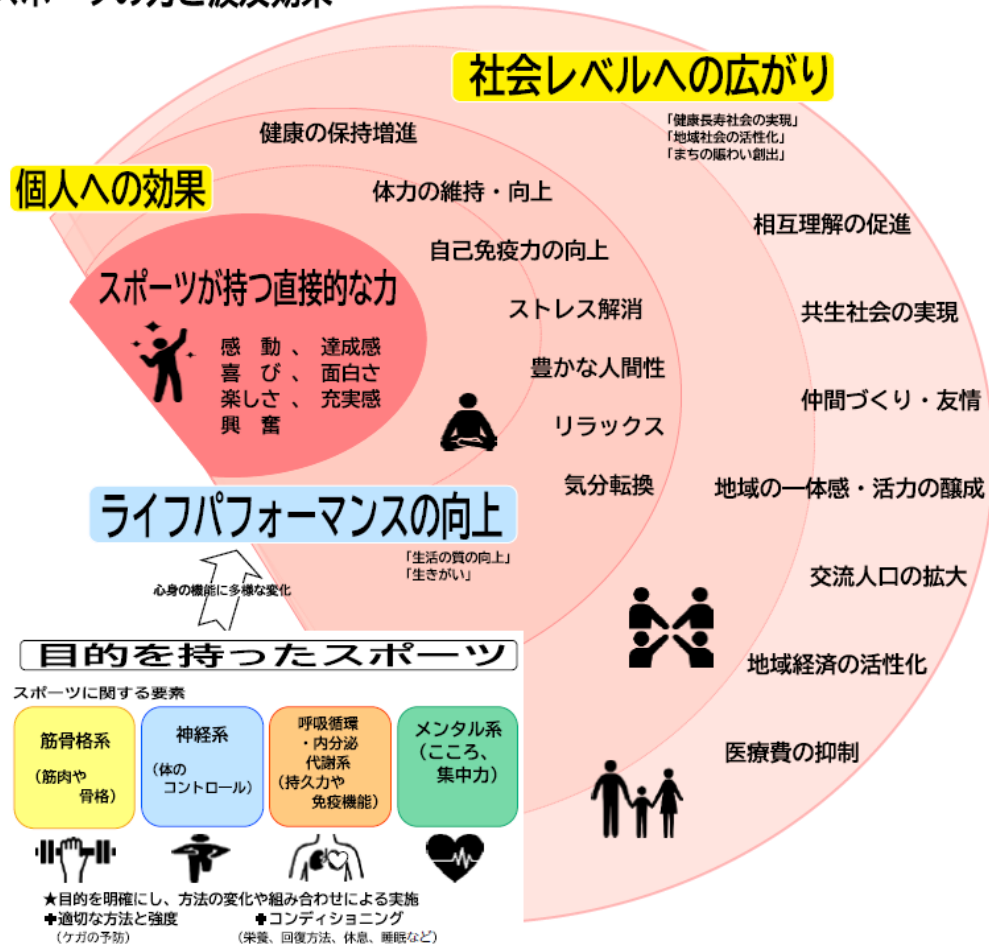
- 競技種目から軽い運動
- スポーツ観戦やボランティアなど「みる」「ささえる」活動
- 日常生活の中での階段昇降、自転車、歩くことなど

★意識的・継続的に行う様々な身体活動

これらの活動をスポーツとして捉え、市民がスポーツに親しみ、健康で豊かな暮らしを享受できることを目指す。



スポーツの力と波及効果



(個人への効果)

- 「する」「みる」などによる感動、達成感、喜び・・・
- 心身の健康（体力の維持・向上、ストレス解消など）

(社会レベルへの広がり)

- 健康長寿社会の実現
- 仲間づくり・友情、地域の一体感、交流拡大
- 地域経済の活性化、まちの賑わい創出・・・

スポーツにより個人の元気、活力が増せば、地域、社会へと波紋のように広がっていく
「スポーツ」で個人、地域、社会がかわる！ **スポーツの力は無限大!!**

SPORTS



ONOMICHI

スポーツ無限大おのみち

基本理念 スポーツタウン尾道
キャッチフレーズ スポーツ無限大おのみち

すべての市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるよう、
スポーツを通じたまちづくりを進めます。

すべての市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるよう、スポーツを通じたまちづくりを進めます。

施策体系

基本方針2 子供達のスポーツの充実

～未来を担う子供達のために～

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための基盤として、子供のスポーツ活動を推進します。

遊びを通じた体づくり、スポーツの重要性や効果の啓発、各種体験機会の充実などを通してスポーツを好きになることにより、スポーツの習慣化を目指します。

基本的方向

- (1) 幼児期のスポーツの推進
- (2) 少年期のスポーツの充実
- (3) 中学生のスポーツの環境整備
- (4) 多様なスポーツへのアクセスの確保
- (5) 競技力向上及びアスリートへの支援
- (6) トップアスリートや最先端のスポーツ医・科学に触れる機会の創出

基本方針3 スポーツを通じた共生社会の実現

～ともにスポーツを楽しめる環境づくり～

インクルーシブスポーツの普及促進などにより、性別、年齢、障害の有無、国籍などを問わず、誰もがスポーツを通じて相互理解を深め、多様性が尊重される共生社会の実現を目指します。また、スポーツの安全性・公平性・公正性を確保し、ハラスメントの根絶を目指します。

基本的方向

- (1) 障害のある人のスポーツの推進
- (2) 誰もが「ともに」スポーツを楽しむことができる共生社会の実現
- (3) 女性・子育て世代のスポーツの推進（再掲）
- (4) スポーツを通じた女性の活躍促進
- (5) スポーツを実施する者の安全・安心の確保

基本方針1 スポーツによる健康増進

～スポーツ・イン・ライフの推進～

健康で活力ある社会に向けて、ライフステージや個人の状況などに応じた施策や取組の方向性を示し、市民がスポーツに親しみ、スポーツが生活の一部となることを目指します。

基本的方向

- (1) 生涯にわたりスポーツを楽しむという意識の醸成
- (2) ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりによる健康寿命の延伸
- (3) 女性・子育て世代のスポーツの推進
- (4) 高齢者のスポーツの支援
- (5) スポーツへのDXなどの活用
- (6) 頭脳スポーツの普及
- (7) 多様なスポーツ機会の創出

基本方針4 スポーツによるまちづくり

～誇れるまち『尾道』を目指して～

スポーツには人を惹きつける力、喜びや感動をともに分かち合い人と人をつなげる力があります。スポーツでの交流や一体感の醸成による地域の活性化、スポーツツーリズムの推進による地域経済への波及効果など、スポーツによるまちづくりにより誇れるまち『尾道』を目指します。

基本的方針

- (1) 地域でスポーツに親しむことができる環境の構築
- (2) スポーツによる交流の促進
- (3) スポーツツーリズムの推進
- (4) マリンスポーツ推進事業「尾道海属」の浸透

基本方針5 スポーツ施設の充実

～誰もが利用しやすい施設に向けて～

計画的な施設・設備の整備や効率的な管理運営を進め、誰もが安全・安心・快適に利用できる環境の構築を目指します。

基本的方針

- (1) スポーツ施設の効果的・効率的な活用
- (2) 身近な場所でスポーツに親しむことができる環境の整備
- (3) スポーツ施設におけるICTの活用
- (4) 365日にぎわいができる公共スポーツ施設を目指した取組

基本方針1 スポーツによる健康増進

～スポーツ・イン・ライフの推進～

健康で活力ある社会に向けて、ライフステージや個人の状況などに応じた施策や取組の方向性を示し、市民がスポーツに親しみ、スポーツが生活の一部となることを目指します。

基本的方向

- (1)生涯にわたりスポーツを楽しむという意識の醸成
- (2)ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりによる健康寿命の延伸
- (3)女性・子育て世代のスポーツの推進
- (4)高齢者のスポーツの支援
- (5)スポーツへのDXなどの活用
- (6)頭脳スポーツの普及
- (7)多様なスポーツ機会の創出

基本方針1 スポーツによる健康増進 本年度の主な取組

- スポーツの日記念行事（10/14体力運動能力測定ほか）
- おのみち建幸チャレンジ+10、シルバーリハビリ体操
- スポーツ実践講習会（ストレッチ・ラジオ体操ほか）
- 尾道市体育協会事業（7/6ボッチャ交流大会、スポーツフェスティバルほか）
- スポーツ推進委員の派遣事業、地区体協等へのスポーツ用具貸与
- 尾道海属マリンスポーツ市民体験会
（マリン・ユース・センター、瀬戸田サンセットビーチ、7～11月）



市民の体力測定会



スポーツの日イベント（棒びくす®）

基本方針2 子供達のスポーツの充実

～未来を担う子供達のために～

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための基盤として、子供のスポーツ活動を推進します。

遊びを通じた体づくり、スポーツの重要性や効果の啓発、各種体験機会の充実などを通してスポーツを好きになることにより、スポーツの習慣化を目指します。

基本的方向

- (1) 幼児期のスポーツの推進
- (2) 少年期のスポーツの充実
- (3) 中学生のスポーツの環境整備
- (4) 多様なスポーツへのアクセスの確保
- (5) 競技力向上及びアスリートへの支援
- (6) トップアスリートや最先端のスポーツ医・科学に触れる機会の創出

基本方針2 子供達のスポーツの推進

本年度の主な取組

- 幼児期から小学生低学年を対象にした運動遊び指導者養成事業（広島県連携事業）
- 小学生高学年を対象にしたスポーツ能力開発会開催事業（広島県連携事業）
- 尾道市立中学校における部活動の在り方に関する検討、取組
- 令和7年度中国総体（インターハイ）開催準備（テニス会場）
- 県立びんご運動公園アーバンスポーツ施設整備（広島県）
- 尾道市体育協会事業（かけっこ、ラグビー、合気道など）



尾道市体育協会 キッズ合気道体験教室



尾道市体育協会 キッズかけっこ教室

基本方針3 スポーツを通じた共生社会の実現

～ともにスポーツを楽しめる環境づくり～

インクルーシブスポーツの普及促進などにより、性別、年齢、障害の有無、国籍などを問わず、誰もがスポーツを通じて相互理解を深め、多様性が尊重される共生社会の実現を目指します。
また、スポーツの安全性・公平性・公正性を確保し、ハラスメントの根絶を目指します。

基本的方向

- (1) 障害のある人のスポーツの推進
- (2) 誰もが「ともに」スポーツを楽しむことができる共生社会の実現
- (3) 女性・子育て世代のスポーツの推進（再掲）
- (4) スポーツを通じた女性の活躍促進
- (5) スポーツを実施する者の安全・安心の確保

基本方針3 スポーツを通じた共生社会の実現
本年度の主な取組

- 広島県インクルーシブフェスタ2024 (11/17)
- 尾道海属インクルーシブビーチプロジェクト (7/27サンセットビーチ)
- 障害者のスポーツ環境整備
- スポーツ実施の安全・安心につながる指導者講習会



マリンスポーツ指導者研修会



瀬戸田サンセットビーチ ユニバーサルビーチプロジェクト

基本方針4 スポーツによるまちづくり

～誇れるまち『尾道』を目指して～

スポーツには人を惹きつける力、喜びや感動をともに分かち合い人と人をつなげる力があります。スポーツでの交流や一体感の醸成による地域の活性化、スポーツツーリズムの推進による地域経済への波及効果など、スポーツによるまちづくりにより誇れるまち『尾道』を目指します。

基本の方針

- (1)地域でスポーツに親しむことができる環境の構築
- (2)スポーツによる交流の促進
- (3)スポーツツーリズムの推進
- (4)マリンスポーツ推進事業「尾道海属」の浸透

基本方針4 スポーツによるまちづくり 本年度の主な取組

- 姉妹都市今治市、松江市スポーツ交歓大会（6/22・23松江市 ほか）
- 西日本学生トライアスロン選手権大会尾道因島大会（6/16）
- せとだレモンマラソン支援（R7.2）
- サイクリングしまなみ2024（10/27）
- カープウエスタンリーグ誘致
- スポーツボランティアの募集



H30 ウエスタンリーグ しまなみ球場



せとだレモンマラソン



西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会 18

基本方針4 スポーツによるまちづくり

本年度の主な取組

尾道海属

- ビーチヨガ（瀬戸田サンセットビーチ、6～11月）
- マリンフェスティバル（7/21マリン・ユース・センター）
- 百島ビーチフェスティバル（7/23、24）
- ホームページなどによる情報発信
- 設備整備（SUP他）、支援事業（2事業）
- 安全安心・環境配慮（水辺の安全教室、漂着ごみ対策）
- 尾道海属登録



百島ビーチフェスティバル



漂流ごみ拾い



水辺の安全教室

基本方針5 スポーツ施設の充実

～誰もが利用しやすい施設に向けて～

計画的な施設・設備の整備や効率的な管理運営を進め、誰もが安全・安心・快適に利用できる環境の構築を目指します。

基本的方針

- (1) スポーツ施設の効果的・効率的な活用
- (2) 身近な場所でスポーツに親しむことができる環境の整備
- (3) スポーツ施設におけるICTの活用
- (4) 365日にぎわいができる公共スポーツ施設を目指した取組

基本方針5 スポーツ施設の充実 本年度の主な取組

- 向島運動公園多目的グラウンド整備（人工芝生化）設計業務
- 施設整備計画（照明LED化、トイレ洋式化など）
- インターネット予約システム、リモートロック、キャッシュレスなど利便性向上の促進



向島運動公園



東尾道多目的競技場 スマートロック

社会を取り巻く環境が急速に変化している中で、SDGsの達成について「スポーツの力が貢献する」と言われています。

各施策、事業を実践する中で、SDGsへの貢献を意識しながら進めていきます。



持続可能な開発のための2030アジェンダ宣言 (2015/9/25第70回国連総会)

スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発及び平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。



ご清聴ありがとうございました。